

洞爺湖サミット

■ゼロエミッションハウス完成 【留寿都】北海道洞爺湖サミットで、内外の報道陣の拠点となる後志管内留寿都村の国際メディアセンターの屋外駐車場に、二酸化炭素をまったく排出しない近未来型住宅「ゼロエミッションハウス」が完成し、三十日、開会披露式が行われた。

「ゼロエミッションハウス」は、日本の環境技術を内外の報道陣に見てもらおうと、経済産業省が約二億円をかけて建設。太陽光パネルや断熱ガラスのほか、水素と酸素で電気とお湯をつくる燃料電池システム、最新の省エネ家電など最先端の技術を集めた。開会式では新藤義孝副大臣が「地球環境問題を解決するのは技術と情熱。日本の技術の粋を世

界の人に見てもらえれば」とあいさつし、さっそく燃料電池で沸かした足湯を試した。写真左。同ハウスは報道陣向けに十日まで設置される。

